

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 4 年 8 月 26 日(2022.8.26)

【公開番号】特開 2021-65474(P2021-65474A)
【公開日】令和 3 年 4 月 30 日(2021.4.30)
【年通号数】公開・登録公報 2021-020
【出願番号】特願 2019-193867(P2019-193867)
【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 3 1

A 6 3 F 5/04 6 6 1

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 8 月 18 日(2022.8.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

リールと、

ストップスイッチと、

所定のエラーを報知可能な所定のセグメント表示器と、

内部抽選手段と、

ストップスイッチの操作態様を報知可能な報知遊技状態と

を備え、

内部抽選手段は、内部抽選の結果として特定結果を決定可能であり、

30

内部抽選の結果が前記特定結果となった遊技において、第 1 操作態様でストップスイッチが操作された場合には、第 1 図柄組合せを停止可能であり、

内部抽選の結果が前記特定結果となった遊技において、第 2 操作態様でストップスイッチが操作された場合には、第 2 図柄組合せを停止可能であり、

第 1 図柄組合せが停止した場合には、所定数の遊技媒体を付与可能であり、

第 2 図柄組合せが停止した場合には、前記所定数よりも多い特定数の遊技媒体を付与可能であり、

報知遊技状態でない所定の遊技状態であって内部抽選の結果が前記特定結果となった所定の遊技において第 1 操作態様でストップスイッチが操作された場合の方が、当該所定の遊技において第 2 操作態様でストップスイッチが操作された場合よりも、当該所定の遊技において所定の特典が付与される割合が高くなるよう構成されており、

40

特定の設定値（遊技者に最も不利な設定値）において、前記所定の遊技では第 1 操作態様でストップスイッチを操作する第 1 遊技方法で、その他の遊技では第 3 遊技方法で所定回数の遊技を行った場合の出玉率の設計値を A（A は数値）とし、

前記特定の設定値において、前記所定の遊技では第 2 操作態様でストップスイッチを操作する第 2 遊技方法で、その他の遊技では前記第 3 遊技方法で前記所定回数の遊技を行った場合の出玉率の設計値を B（B は数値）とし、

所定の設定値（遊技者に最も有利な設定値）において、前記所定の遊技では第 1 操作態様でストップスイッチを操作する前記第 1 遊技方法で、その他の遊技では前記第 3 遊技方法で前記所定回数の遊技を行った場合の出玉率の設計値を C（C は数値）とし、

50

前記所定の設定値において、前記所定の遊技では第2操作態様でストップスイッチを操作する前記第2遊技方法で、その他の遊技では前記第3遊技方法で前記所定回数の遊技を行った場合の出玉率の設計値をD（Dは数値）とした場合、
 $A > B$ 、且つ、 $C - A > D - B$ となるよう設計されており、
 遊技媒体の差数に関する値が所定の条件を満たすと遊技の進行を停止可能とし、
 遊技媒体の差数に関する値が前記所定の条件を満たして遊技の進行を停止した場合であっても前記所定のセグメント表示器では遊技の進行が停止した旨を報知しないよう構成されている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本態様に係る遊技機は、

リールと、

ストップスイッチと、

所定のエラーを報知可能な所定のセグメント表示器と、

内部抽選手段と、

ストップスイッチの操作態様を報知可能な報知遊技状態とを備え、

内部抽選手段は、内部抽選の結果として特定結果を決定可能であり、

内部抽選の結果が前記特定結果となった遊技において、第1操作態様でストップスイッチが操作された場合には、第1図柄組合せを停止可能であり、

内部抽選の結果が前記特定結果となった遊技において、第2操作態様でストップスイッチが操作された場合には、第2図柄組合せを停止可能であり、

第1図柄組合せが停止した場合には、所定数の遊技媒体を付与可能であり、

第2図柄組合せが停止した場合には、前記所定数よりも多い特定数の遊技媒体を付与可能であり、

報知遊技状態でない所定の遊技状態であって内部抽選の結果が前記特定結果となった所定の遊技において第1操作態様でストップスイッチが操作された場合の方が、当該所定の遊技において第2操作態様でストップスイッチが操作された場合よりも、当該所定の遊技において所定の特典が付与される割合が高くなるよう構成されており、

特定の設定値（遊技者に最も不利な設定値）において、前記所定の遊技では第1操作態様でストップスイッチを操作する第1遊技方法で、その他の遊技では第3遊技方法で所定回数の遊技を行った場合の出玉率の設計値をA（Aは数値）とし、

前記特定の設定値において、前記所定の遊技では第2操作態様でストップスイッチを操作する第2遊技方法で、その他の遊技では前記第3遊技方法で前記所定回数の遊技を行った場合の出玉率の設計値をB（Bは数値）とし、

所定の設定値（遊技者に最も有利な設定値）において、前記所定の遊技では第1操作態様でストップスイッチを操作する前記第1遊技方法で、その他の遊技では前記第3遊技方法で前記所定回数の遊技を行った場合の出玉率の設計値をC（Cは数値）とし、

前記所定の設定値において、前記所定の遊技では第2操作態様でストップスイッチを操作する前記第2遊技方法で、その他の遊技では前記第3遊技方法で前記所定回数の遊技を行った場合の出玉率の設計値をD（Dは数値）とした場合、

$A > B$ 、且つ、 $C - A > D - B$ となるよう設計されており、

遊技媒体の差数に関する値が所定の条件を満たすと遊技の進行を停止可能とし、

遊技媒体の差数に関する値が前記所定の条件を満たして遊技の進行を停止した場合であっても前記所定のセグメント表示器では遊技の進行が停止した旨を報知しないよう構成され

10

20

30

40

50

ている

ことを特徴とする遊技機である。

< 付記 >

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定されることなく実施することが可能である。

本別態様に係る遊技機は、

複数のリールと、

複数のストップスイッチと、

内部抽選手段と、

リールを制御するリール制御手段と、

演出表示装置と

10

を備え、

遊技区間として、ストップスイッチの操作態様を報知する場合を有する有利区間と、ストップスイッチの操作態様を報知しない通常区間とを有し、

有利区間においては、ストップスイッチの操作態様を報知可能な報知状態を有し、

内部抽選手段は、第1図柄組み合わせと当該第1図柄組み合わせよりも多くの遊技媒体の払い出しを伴う第2図柄組み合わせとのいずれかが停止可能な特定役を決定可能に構成されており、

リール制御手段は、所定の操作態様にて複数のリールが停止された場合には、第2図柄組み合わせが停止し得るように構成されており、

20

演出表示装置にてストップスイッチの操作態様に関する表示を実行可能であり、

有利区間でありかつ報知状態でない状況下において、第2図柄組み合わせが停止された場合よりも、第1図柄組み合わせが停止された場合の方が、報知状態に関する特典を付与し得るように構成される

ことを特徴とする遊技機である。

30

40

50